

2 個目以降のオラクルインストールでの OEM (Oracle Enteries Manager) 画面へ接続するためのポート番号

複数個目の Oracle をサーバーに追加する時に表示される

DataBase Configuration Assistant の起動方法

[スタート] ボタン → [Oracle - OraDB11g_home] →

[コンフィグレーションおよび移行ツール] → [DataBase Configuration Assistant]

設定内容

データベース識別情報 (ステップ 3/15)

グローバル・データベース名 : サーバー外部から見た時の名前

例 ora2. system3support.jp

SID : 同一サーバー内に役割別に D/B を 2 つ構築させ
たときのインスタンス区別用の識別名

例 ora2

データベース作成完了画面

データベースの作成が完了しました。	
データベース情報	
グローバル・データベース名	ora2. system3support.jp
システム識別子	ora2
サーバー・パラメータファイル	C:\Administrator\product\11.1.0\db_1 ¥database¥spfile<SID 名>.ora
Database Control の URL	http://<サーバー名>: 5500/em
	↓
	OEM (Oracle Enteries Manager) 画面の URL
	↓
	パスワード管理
	↓
	ユーザーのパスワード設定画面へ

追加したデータベース SID への OEM (Oracle Enteries Manager) 画面へ接続するための
ポート番号は、この画面に表示される。

デフォルト : 1 個目 1158

2 個目 5500